

■ 委員長報告概要 ■

		平成 30 年 3 月定例会
		総務文教常任委員会
議 案 件 名	議案第 8 号 平成 29 年度山陽小野田市小型自動車競走事業特別会計補正予算（第 3 回）について	
概 要	人事院勧告に準じた国の給与改正に伴う人件費の調整を行うもの	
論点又は質疑 によって明らか になった事項	<ul style="list-style-type: none"> * 歳出を 18 万 7,000 円増額し、予備費で同額の 18 万 7,000 円を減額する。 * 予算総額の変更はない。 	
討 論	討論なし	
結 果	全員賛成で可決	

		平成 30 年 3 月定例会
		総務文教常任委員会
議 案 件 名	議案第 12 号 山陽小野田市職員給与条例の一部を改正する条例の制定について	
概 要	職員の給与について、国の給与改正に準じて同様の改正を行うもの	
論点又は質疑 によって明らか になった事項	<ul style="list-style-type: none"> * 職員の給料を平均 0.19%引き上げるとともに、勤勉手当についても支給月数を 0.1 月引き上げる。 * 平成 29 年 4 月 1 日から適用する。 	
討 論	討論なし	
結 果	全員賛成で可決	

■ 委員長報告概要 ■

		平成 30 年 3 月定例会
		総務文教常任委員会
議 案 件 名	議案第 13 号 山陽小野田市長等の給与に関する条例及び山陽小野田市病院事業管理者の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	
概 要	国の改正に準じて改正する職員の期末勤勉手当と同様の措置を行うもの	
論点又は質疑 によって明らか になった事項	<ul style="list-style-type: none"> * 職員と同様に期末勤勉手当を 0.1 月分引き上げる。 * 平成 29 年 4 月 1 日から適用する。 	
討 論	討論なし	
結 果	全員賛成で可決	

		平成 30 年 3 月定例会
		総務文教常任委員会
議 案 件 名	議案第 14 号 山陽小野田市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当支給条例の一部を改正する条例の制定について	
概 要	国会議員に準じて市議会議員の期末手当を改正するもの、また特別職報酬等審議会の答申を受けて市議会議員の報酬を改正するもの。	
論点又は質疑 によって明らか になった事項	<ul style="list-style-type: none"> * 市議会議員の期末手当の支給月数を 0.05 月引き上げ、平成 29 年 4 月 1 日から適用する。 * 今年度開催した特別職報酬等審議会の答申を尊重して、市議会議員の報酬の削減額を現行の 10% から 5% に改正し、平成 30 年 4 月 1 日から施行する。 * 特別職報酬等審議会については委員 10 名で、4 回の会議を開催した。 	
討 論	討論なし	
結 果	全員賛成で可決	

■ 委員長報告概要 ■

		平成 30 年 3 月定例会
		総務文教常任委員会
議 案 件 名	議案第 15 号 山陽小野田市職員の退職手当に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	
概 要	国の退職手当の見直しに準じて、職員の退職手当についても同様の改正を行うもの	
論点又は質疑 によって明らか になった事項	<ul style="list-style-type: none"> * 調整率を 100 分の 87 から 100 分の 83.7 に引き下げる。 * 他の地方公務員又は国家公務員から引き続いて本市の職員となった場合及び本市の職員から引き続き他の地方公務員又は国家公務員となった場合に、勤続期間を通算できるよう改正する。 * 来年度山口県から職員の派遣があるため、これまでに本市になかった通算の規定を設ける。 	
討 論	討論なし	
結 果	全員賛成で可決	

		平成 30 年 3 月定例会
		総務文教常任委員会
議 案 件 名	承認第 3 号 山陽小野田市税条例の一部改正に関する専決処分について	
概 要	地方税法施行規則の一部を改正する省令が平成 29 年 12 月 18 日と 12 月 26 日に公布され、平成 30 年 1 月 1 日から施行されて、直ちに市税条例の改正を行う必要があったことから、地方自治法第 179 条第 1 項の規定により、平成 29 年 12 月 28 日に専決処分を行ったもの	
論点又は質疑 によって明らか になった事項	* 省令の改正に伴う市税条例の条ずれ、項ずれの改正で条例の内容自体の改正はない。	
討 論	討論なし	
結 果	全員賛成で承認	

■ 委員長報告概要 ■

	平成 30 年 3 月定例会
	民生福祉常任委員会
議 案 件 名	議案第 3 号 平成 29 年度山陽小野田市国民健康保険特別会計補正予算（第 2 回）について
概 要	今回の補正は、決算を見込んで各事業費の予算額を調整するとともに、人事院勧告に準じた給与改正による人件費の調整によるもので、歳入歳出とも 9,056 万 7,000 円を減額し、予算総額を 84 億 8,309 万円とするもの
論点又は質疑 によって明らか になった事項	<ul style="list-style-type: none"> * 保険料収納率について、平成 29 年度は 1 月末時点で 70.08% となり過去 7 年間で最も高い収納率 * 療養給付費について、12 月末から 1 月第 1 週までの数値を過去 3 年間で比較するとかなり数値が伸びているので、医療費増の見込みを立て、最終補正予算に反映 * 被保険者数減により、出産育児一時金は 20 件分、葬祭費一時金は 50 件分の減額 * 検診委託料減額の主なものは、胃がん及び肺がん検診の減によるもので、胃がん検診については平成 28 年度から受診が 2 年に 1 回となったが、28 年度と 29 年度が半分ずつとならず、当初見込みより減ったことによるもの * 特定健診について受診率を 40% と見込んでいたが、到達できない見込みで最終予算を調整 * 補正後の基金残高見込みは 8 億 7,864 万 7,619 円
討 論	なし
結 果	全員賛成で可決

議 案 件 名	議案第 4 号 平成 29 年度山陽小野田市介護保険特別会計補正予算（第 3 回）について
概 要	今回の補正は、決算を見込んだ給付費等の補正と、人事院勧告に準じた給与改正による人件費の調整によるもので、歳入歳出とも 3,532 万 5,000 円を減額し、予算総額を 62 億 8,634 万 1,000 円とするもの
論点又は質疑 によって明らか になった事項	<ul style="list-style-type: none"> * 介護認定審査会の委員報酬の減額について、審査を 1 回 30 名程度としているが、審査内容を精査し、件数を調整する中で中止となった審査会分を減額補正しており、認定者に影響はないとの説明 * 保険給付費の減額について、予防給付費のうち今年度から介護予防通所介護と介護予防訪問介護が総合事業に移行されることになっていたが、見込み以上に給付費が減少したことが大きく関係しているとの説明

	<p>*地域支援事業費の介護予防ケアマネジメント委託料について、市内の居宅介護支援事業所に多くの委託を受けてもらえなかったことにより減額となるものであるが、委託する方向は変えていないとの説明</p> <p>*機械器具借上料について、当初予算では2年分のシステム使用リース料として計上していたが、毎月使用した後にリース料を支払うのが望ましいことから1年ごとの支払とし、翌年度分を減額するもの</p>
討 論	なし
結 果	全員賛成で可決

議 案 件 名	議案第5号 平成29年度山陽小野田市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2回)について
概 要	今回の補正は、決算を見込んで歳入歳出とも1,213万7,000円を減額し、予算総額を10億3,321万9,000円とするもの
論点又は質疑 によって明らか になった事項	*保険料還付金50万円及び還付加算金10万円の増額は、12月議会でも補正した広域連合電算処理システムの保険料軽減誤りに係る還付の追加分
討 論	なし
結 果	全員賛成で可決

議 案 件 名	議案第9号 平成29年度山陽小野田市病院事業会計補正予算(第2回)について
概 要	今回の補正は、外来患者数と主要な建設改良事業の予定量を減らすとともに、決算を見込んで予算調整を行うもの
論点又は質疑 によって明らか になった事項	<p>*一日平均入院患者数は185人と当初との変更はないが、入院単価を3万6,200円から3万6,700円に引き上げて、入院収益を3,376万2,000円増の24億7,816万7,000円とするもの</p> <p>*一日平均外来患者数は410人と当初より20人減とし、外来単価を9,600円から9,500円に引き下げて、外来収益を5,685万2,000円減の9億5,038万円とするもの</p> <p>*外来患者の減少は、薬の長期投与の影響もあるが、国において200床以上の急性期病院で外来機能分化への政策誘導を行っており、当院においても紹介・逆紹介を積極的に進めているためとの説明</p> <p>*入院患者については、診療科ごとの人数、目標数値を定めているが、外来患者については定めなし</p> <p>*外来患者については内部で調整しながら、どういう形で目標数値を定めていくか検討してみたいとの答弁</p>

	<ul style="list-style-type: none"> * 収益的収入の公衆衛生活動収益 240 万円の増額は、予防接種や健診の件数が昨年度と比較して月平均 10%以上増加していることによるもの * その他医業収益 620 万 2,000 円の増額は、貸衣料、胎盤料、紙おむつや医療材料の実費負担など入院関係収益の伸びによるもの * 一般会計からの繰入れによる特別利益 3 億 5,000 万円について、今年度の決算見込みは経営改善の効果もあり、収支が大幅に改善しているが、平成 24 年 1 月 24 日付けの総務副大臣通知の「地方財政法施行令における資金の不足額の算定方法に係る経過措置」が平成 28 年度で終了し、資金不足が発生する見込みとなったためであり、今回の一般会計からの繰入れは病院の財務基盤を強化し、経営の健全化を図り、将来にわたり資金不足を発生させないようにするため必要な措置であるとの説明 * 資金不足の発生はあらかじめ分かっており、経営改善を図ったが、経過措置の影響をなくすほどの改善ができていなかったとの答弁 * 工業用水道事業会計からの長期借入金は、平成 33 年度で終了予定 * 収益的支出の材料費 5,078 万 8,000 円の増額については、薬品費は業者集約や価格交渉により 2,400 万円の減額となったが、手術件数の増加などにより検査や X 線、その他材料費などが増えたことによるものとの説明 * 資本的収入の医療機器購入費補助金 398 万 3,000 円の減額は、県の産科医療機器設置補助金に 4 機種 796 万 6,000 円相当の機器を要望していたが、採択されず補助率 2 分の 1 分の減額 * 県の産科医療機器設置補助金に採択されなかった 4 機種の機器（子どもの蘇生装置、新生児用保育器、LED の光線治療器、新生児の体重計）は企業債で購入
<p style="text-align: center;">討 論</p>	<p>賛成討論あり、反対討論あり</p>
<p style="text-align: center;">結 果</p>	<p>賛成多数で可決</p>

■ 委員長報告概要 ■

		平成30年3月定例会
		産業建設常任委員会
議 案 件 名	議案第2号 平成29年度山陽小野田市駐車場事業特別会計補正予算(第2回) について	
概 要	<p>今回の補正は、厚狭駅南口駐車場の南側入口及び出口のゲート設備が老朽化しており、機器類に不具合が起こったことから更新を予定していたが、入口のみの東側に出口の増設が可能になったことから今年度の更新予定を取り止め、平成30年度に東側出入口の整備工事と精算機ほか機器類の更新をするためである。</p> <p>歳出については1款駐車場事業費、1項駐車場管理費、1目一般管理費、14節機械器具借上料220万4,000円を減額し、特定財源を同等額220万4,000円減額補正するもの。2款公債費については一般管理費の減額分220万4,000円と使用料増額分458万7,000円の合計679万1,000円を増額補正し、一般財源の同額を減額補正するもの。3款予備費については170万2,000円を増額補正し、補正後の額を180万2,000円とするもので、この額が平成30年度予算への繰越額となる予定である。</p> <p>歳入については1款使用料及び手数料、1項使用料、1目駐車場使用料458万7,000円を増額補正し、補正後の額を1,748万1,000円とするもの。2款繰入金、1項一般会計繰入金、1目駐車場事業費繰入金508万9,000円を減額し、補正後の額を0円とするものである。これにより、歳入歳出とも50万2,000円の減額補正となり、合計金額は2,568万円となる。</p> <p>また、利用台数は増加、稼働率は平成28年度の55%に比べ、現時点で63%となっている。</p>	
論点又は質疑 によって明らか になった事項	<p>「使用料増額補正となった主な原因は」との質問に「料金の値下げにより、利用者がかなり増えたことによる」との答弁</p> <p>「使用料増額補正の算定根拠は」との質問に「11月までの実績に4か月の推定使用料を加味した。プリペイドについては11月末の実績とした」との答弁</p> <p>「利用される時間としては何時間が多いか」との質問に「8時間から10時間利用される方が一番多い」との答弁。</p> <p>「苦情などはあるか」との質問に「機器の故障に伴うものが何度かあった」との答弁</p> <p>「緊急業務委託料2万7,000円の根拠は」との質問に「維持管理業務は月10回まで委託業者が行い、11回目以降は1回当たり5,400円の支払いが発生する。その5回分である」との答弁</p> <p>「プリペイドのプレミア分はどれほどか」との質問に「1,000円については100円、3,000円では500円、5,000円では1,000円それぞれ上乗せしている」との答弁</p>	
討 論	なし	
結 果	全員賛成で可決	

平成30年3月定例会

産業建設常任委員会

議 案 件 名	議案第6号 平成29年度山陽小野田市下水道事業特別会計補正予算(第2回)について
概 要	<p>今回の補正は決算を見込み予算調整するもので、歳入歳出とも712万9,000円を減額し、補正後の予算総額を28億1,458万2,000円とするものである。歳出での主なものは、1款下水道事業費、13節委託料のシステム開発委託料146万4,000円の減額は公営企業会計システム構築業務委託料の落札減によるもの。27節公課費の消費税及び地方消費税144万6,000円の減額は納税額の確定によるもの。2款公債費、23節償還金、利子及び割引料の地方債利子500万円の減額は本年度の利子償還額の確定によるもの。人件費については人事院勧告に伴うものである。</p> <p>歳入での主なものは1款分担金及び負担金、1節現年度分負担金100万円の増額は年度内の徴収見込み額の増収見込みによるもの。2款使用料及び手数料、1項使用料、1節現年度分の現年度分使用料765万9,000円の増額は使用料の増収見込みによる。3款国庫支出金、1節下水道事業費国庫補助金の一般分15万3,000円の減額はスクラップ売り払いによる国庫返納分。4款繰入金、1節下水道事業費繰入金1,517万8,000円の減額はシステム開発委託料の減額による歳出の減額、使用料収入の増収などにより、一般会計から補うべき財源が減少したことによる繰入金の減額。7款市債、1節の公営企業適用債140万円の減額はシステム開発委託料の減額に伴うもの。8款財産収入、1節物品売払収入34万3,000円は工事において発生したスクラップの売り払い収入である。</p> <p>繰越明許費については、高千帆2号汚水幹線敷設工事ほか23件、総額2億1,877万5,000円を平成30年度に繰り越すこととした。</p>
論点又は質疑 によって明らか になった事項	<p>「莫大な事業費の繰越の理由は」との質問に「処理場の機器の故障が非常に多く、機器の長寿命化工事のメニューを変更したことにより、ロスタイムが生じ、工事が遅れたことによる」との答弁</p> <p>「交付決定額があると思うが変更されているか」との質問に「国庫補助金についても繰越が認められており、30年度に繰り越すことで国から承認されている」との答弁</p> <p>「スクラップ売り払いによる国庫返納分の金額は妥当か」との質問に「5者からの入札を行っている」との答弁</p>
討 論	なし
結 果	全員賛成で可決

平成30年3月定例会

産業建設常任委員会

議 案 件 名	議案第7号 平成29年度山陽小野田市農業集落排水事業特別会計補正
---------	----------------------------------

	予算（第2回）について
概要	<p>今回の補正は、決算を見込み予算調整するもので、歳入歳出とも 54 万 5,000 円を減額し、補正後の予算総額を 8,637 万 4,000 円とするものである。歳出での主なものは 1 款農業集落排水事業費、13 節委託料のシステム開発委託料 36 万 6,000 円の減額は公営企業会計システム構築業務委託料の落札減によるもの。27 節公課費の消費税及び地方消費税 17 万 9,000 円の減額は本年度の納税額が確定したことによる。</p> <p>歳入での主なものは 2 款繰入金、1 節一般会計繰入金 14 万 5,000 円の減額は歳出の減額を補うもの。5 款市債、1 節公営企業適用債 40 万円の減額はシステム開発委託料の減額に伴うものである。</p>
論点又は質疑によって明らかになった事項	「システム開発委託料の減額は入札差金だけか。受注業者は同一の業者か」との質問に「そのとおりである」との答弁
討論	なし
結果	全員賛成で可決

平成 30 年 3 月定例会
産業建設常任委員会

議案件名	議案第 10 号 平成 29 年度山陽小野田市水道事業会計補正予算（第 1 回）について
概要	<p>今回の補正は、主に建設改良費、職員給与等の諸経費について、決算を見込んでの調整である。収益的収入では給水収益を上方修正し、平成 28 年度決算値との比較で上水、簡易水道とも 99.3%程度の見込みである。収入合計は 2,079 万 2,000 円増額補正し、15 億 2,397 万 9,000 円とした。支出については、人件費を 1,400 万円余り減額し、修繕費、動力費、薬品費等の大幅減などから、支出合計は 4,678 万 3,000 円減の 13 億 2,540 万 8,000 円とした。結果、税処理後の損益で当年度純利益は 1 億 5,460 万 6,000 円となるが、非現金性の収入が 6,189 万 8,000 円含まれている。</p> <p>次に資本的収支の支出では、工事の一部不執行、内容変更、入札減など 1 億 1,451 万 5,000 円減額し、支出合計は 9 億 5,324 万 7,000 円とした。収入では上水道企業債 1 億 6,200 万円の減額などにより、収入合計を 2 億 9,662 万 8,000 円とした。この結果、繰越事業費を含めて 6 億 9,579 万 3,000 円の差し引き不足が見込まれる。この補填財源は損益勘定留保金だけでは足りず、積立金 2 億 61 万円取り崩して対応する。</p> <p>また、平成 29 年度末での内部留保資金は約 7 億 2,300 万円、企業債残高は約 51 億 7,651 万 7,000 円の見込みである。</p>
論点又は質疑によって明らかになった事項	<p>「工事費減の主なものは」との質問に「下水道に伴う移設工事による減額と入札減である」との答弁</p> <p>「不納欠損については一般会計と同様に 5 年か」との質問に「水道は 2 年という枠組みがあるが、少し短いので 10 年での処理としている」との答弁</p>

	<p>「回収についての努力は」との質問に「回収率は 99.8%であり、ほぼ回収している。5年間でほとんどないようにしており、10年間で100万円前後の不納欠損で処理している」との答弁</p> <p>「修繕費 1,609万8,000円の補正は高天原の事故の関係か」との質問に「転落防止柵である」との答弁。</p> <p>「コンビニ収納の状況は」との質問に「昨年10月から始めており、この3か月の実績を基に当初予算より若干増額した」との答弁。</p> <p>「有収水量増加の原因は何か」との質問に「当初予算では収入は慎重に少なめに組むため、12月までの実績から当初安全率を見込んだより順調に推移した。減収が少なかったということ」との答弁。</p> <p>「資本的収支で、償還金3億3,700万円は今後も均等な金額か」との質問に「元利を含めて来年は1,000万円程度増える」との答弁。</p>
討 論	なし
結 果	全員賛成で可決

平成30年3月定例会
産業建設常任委員会

議 案 件 名	議案第11号 平成29年度山陽小野田市工業用水道事業会計補正予算(第1回)について
概 要	<p>今回の補正は、職員給与等の諸経費について決算を見込んでの調整である。収益的収支の収入は、33万3,000円増額補正し、収入合計を2億9,807万5,000円とし、支出は人件費、修繕費、動力費等を1,155万4,000円減額補正し、支出合計を2億6,662万6,000円とした。結果、税処理後の損益で当年度純利益は2,968万3,000円となるが非現金性の収入391万3,000円が含まれている。</p> <p>資本的収支の収入について補正はなく、支出では建設改良費関係で工事を1本発注しており、入札減と工法変更により567万7,000円減額補正し、支出合計を4,954万2,000円とした。結果、支出額全額が補填すべき額となり、損益勘定留保金等に加え積立金を一部取り崩して補填することとしている。企業債については、平成19年度以降借入を行わず、償還のみを行っているので順調に減少している。期末残高は1億8,544万6,000円となる。</p>
論点又は質疑 によって明らか になった事項	<p>「配水量で、日産化学が増えて、田辺三菱が減った根拠は」との質問に「供給量については、毎年度末に翌年度の使用量を現在供給している3社に申請していただいている。その結果である」との答弁</p> <p>「建設改良費の減額は大きすぎると思うが、入札減10%程度より工法変更が大きいのか」との質問に「入札減は大体10%程度であり、予算を若干多めに見ていたこと、工法変更により、工事費が若干下がった」との答弁</p>
討 論	なし
結 果	全員賛成で可決

■委員長報告概要■

		平成 30 年 3 月定例会
		一般会計予算決算常任委員会
議 案 件 名	議案第1号 平成29年度山陽小野田市一般会計補正予算(第8回)について	
概 要	今回の補正は、病院事業会計繰出金、人件費の調整及び決算を見通しての補正などであり、歳入歳出とも 1 億 3, 111 万 6, 000 円を減額し、予算総額を 352 億 5, 205 万 7, 000 円とするもの	
論点又は質疑 によって明らか になった事項	<p>【歳入】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 寄附金 2, 823 万円の増額 <ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと寄附金 2, 000 万円の増額 ○ 繰入金 <ul style="list-style-type: none"> ・財政調整基金繰入金 2 億 9, 676 万 3, 000 円の増額 補正後の基金残高は 31 億 1, 457 万 1, 000 円 ○ 市債 2 億 7, 420 万円の減額 <ul style="list-style-type: none"> ・小学校債 4, 650 万円の減額 殖生小学校整備事業調査設計委託料などの減額 ・社会教育債 6, 090 万円の減額 殖生地区複合施設整備事業設計委託料、土地造成工事費の減額 <p>【歳出】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 人件費全般 <ul style="list-style-type: none"> ・一般会計全体 4, 888 万 6, 000 円の増額 ・給料 340 万円の増額 増額理由：議案第 12 号山陽小野田市職員給与条例の一部改正及び議案第 13 号山陽小野田市長等の給与に関する条例の一部改正による ・職員手当等 職員手当等 4, 216 万円の増額 増額理由：議案第 12 号山陽小野田市職員給与条例の一部改正、議案第 13 号山陽小野田市長等の給与に関する条例の一部改正及び普通退職者が 5 名出たことによる ○ 総務費 <ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと支援基金積立金 2, 000 万円の増額 平成 29 年度当初予算 2, 000 万円が、現在 3, 698 万 8, 000 円のサポート寄附 	

ふるさと寄附金は、目標額を大きく上回った一方、他市に出ていった金額は平成 28 年度実績で 534 人、4,660 万 3,547 円

- ・空家等対策調査業務委託料 73 万 8,000 円の減額

入札減による

成果品は空家等対策協議会等で活用し、次期実態調査は 5 年後の計画見直し時に行いたい

○ 民生費

- ・中央福祉センター耐震診断委託料 364 万円の減額

入札減による

耐震診断の結果、Is 値は横方向の値が低い。個別の施設の計画は全庁的に調査している段階で、今後の方向性はその中で見出したい

- ・臨時福祉給付金費の償還金 1,103 万円の増額

国庫補助金の超過分を返還するもの

高齢者向け給付金の給付率は 95.9%

障害・遺族年金向け給付金の給付率は 88.54%

- ・生活保護費の扶助費 8,000 万円の減額

生活保護受給者の減少による

○ 衛生費

- ・病院事業会計繰出金 3 億 5,000 万円の増額

病院局からは新病院改革プランが示され、今後も収益を上げるために努力するとの確認を行った

現在の新病院改革プランの範囲では今後、基準外繰出しはないと考えている

- ・予防接種委託料 1,032 万 2,000 円の減額

接種率は高いが、見込んだほど子どもの対象者がいなかった

- ・健康診査委託料 1,066 万 4,000 円の減額

胃がん検診の受診者が見込みより減少

子宮がん検診では、コルポ拡大鏡での検診を 280 件程度予算化した
が、29 年度実績 0 件

○ 農林水産業費

- ・新規農業就業者定着促進事業補助金 162 万 5,000 円の減額

新規就農者の受入を 12 人予定していたが、10 人となったため

- ・産地パワーアップ事業補助金 1,633 万 9,000 円の減額

事業主体であるグリーンハウスが実施した入札による減

入札は市も立会い、市と同様の手続で行った

	<ul style="list-style-type: none"> ○ 商工費 <ul style="list-style-type: none"> ・ 地方バス路線維持費補助金 768 万 7,000 円の減額 当初見込みより燃料費の上昇が低かったため 県の補助は路線ごとに実績に応じ算出する ○ 消防費 <ul style="list-style-type: none"> ・ 報償金 960 万 5,000 円の増額 消防団員 9 名の退団があったが、幹部団員や勤続年数の長い団員の退職者が増えたため ○ 教育費 <ul style="list-style-type: none"> ・ 埴生地区複合施設整備事業 地質調査委託料 284 万 3,000 円の減額 国土交通省との協議の結果、国道に面した擁壁のかさ増しを行わないこととなったため ○ 繰越明許費 <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校給食共同調理場建設事業 6 億 4,583 万 6,000 円 建築主体・附帯工事の職人不足が発生し、建築主体・附帯工事のみ今年度中に完成見込みで、電気設備工事、給排水衛生ガス設備工事、空気調和設備工事の三つの工事と、厨房機器の設置作業の完成が 4 月下旬にずれ込む見通しとなったため 9 月 3 日が本格オープン、7 月末に工事完了予定で変更なし ○ 債務負担行為補正 <ul style="list-style-type: none"> ・ 生活困窮者自立支援事業 限度額 135 万 7,000 円の増額 必須事業の「生活困窮者自立相談支援事業」と任意事業の「生活困窮者就労準備支援事業」の 2 事業を平成 30 年度も実施するに当たり、臨時職員の賃金程度であったものを任期付職員程度の賃金が妥当との判断をして人件費の見直しを行った結果、委託料限度額の増額となった 生活困窮者自立相談支援事業が相談員 2 名、生活困窮者就労準備支援事業が相談員 1 名
<p>討 論</p>	<p>反対討論あり</p>
<p>結 果</p>	<p>賛成多数で可決</p>

■委員長報告概要■

		平成 30 年 3 月定例会
		一般会計予算決算常任委員会
議 案 件 名	承認第1号 平成29年度山陽小野田市一般会計補正予算(第6回)に関する専決処分について	
概 要	山口東京理科大学薬学部校舎建設事業のC棟空気調和設備工事における工期が2か年度にまたがることとなったため、その予算措置について、平成29年12月25日付けで専決処分したもの	
論点又は質疑 によって明らか になった事項	<p>【歳入】</p> <p>○繰入金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 財政調整基金繰入金 7,500 万円の減額 <p>○市債</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大学校舎整備事業債を 2 億 2,500 万円減額 <p>【歳出】</p> <p>○総務費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大学費の工事請負費を 3 億円減額し、81 億 9,746 万 4,000 円とする <p style="margin-left: 2em;">C棟空気調和設備工事及び危険物倉庫設置工事の工事は、入札不調により平成29年度内に完成させることができなくなり、平成30年度までの工期設定をする必要があった</p> <p style="margin-left: 2em;">C棟空気調和設備工事及び危険物倉庫設置工事の総事業費は5億円で、平成29年度の予算額は前払金の2億円、平成30年度の予算額は残りの3億円としており、平成29年度予算額から3億円を減じて、平成30年度予算に同額を債務負担行為として設定するもの</p>	
討 論	賛成討論あり	
結 果	全員賛成で承認	

■ 委員長報告概要 ■

		平成 30 年 3 月定例会
		一般会計予算決算常任委員会
議 案 件 名	承認第2号 平成29年度山陽小野田市一般会計補正予算(第7回)に関する専決処分について	
概 要	山陽小野田市商工センターの外壁の一部にタイルの欠落が確認され落下の危険性があるため、早急に取り除く必要があることから、その予算措置について平成 30 年 1 月 9 日付けで専決処分したもの	
論点又は質疑 によって明らか になった事項	<p>【歳入】</p> <p>○繰入金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 財政調整基金繰入金 1,700 万円の増額 <p>【歳出】</p> <p>○商工費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 商工センター運営費の工事請負費を 1,700 万円増額 施工業者 嶋田工業株式会社 施工面積 638 m² ・ 緊急性のある人が通る危険な箇所のみ施工 ・ 工期は平成 30 年 3 月 31 日までだが、検査まで見込むと間に合わない可能性があり、第 8 回の補正で繰越明許を提案する 	
討 論	なし	
結 果	全員賛成で承認	

■ 委員長報告概要 ■

	平成 30 年 3 月定例会
	山口東京理科大学調査特別委員会
議 案 件 名	議案第 48 号 山口東京理科大学薬学部増築工事（C棟空気調和設備工事）請負契約の締結について
概 要	山口東京理科大学薬学部増築工事（C棟空気調和設備工事）請負契約の締結について議会の議決を求めるもの
論点又は質疑 によって明らか になった事項	<ul style="list-style-type: none"> * 契約の方法：公募型指名競争入札 * 契約の相手方：三建設備工業・嶋田工業特定建設工事共同企業体 * 契約金額：4 億 1,040 万円 * 工期：平成 30 年 11 月 30 日 * 平成 29 年 4 月 11 日入札執行（9 社指名、9 社辞退） 同 5 月 16 日入札執行（9 社指名、9 社辞退） 同 6 月 7 日随意契約見積合わせ（4 社指名、4 社辞退） 同 10 月 10 日入札執行（1 社指名、予定価格超過のため不落）、平成 30 年 2 月 6 日入札執行（1 社指名、落札） * 今回の空気調和設備工事は実験用の動物を飼育するための特殊な空調設備を必要とするということで、主に大きな大学の医学部や薬学部、農学部とかそういったところで使われる設備となり、なかなか一般の業者が手を付けるのが難しい案件だったため、落札までに多くの時間を費やした
討 論	賛成討論あり
結 果	全員賛成で可決

■ 委員長報告概要 ■

	平成 30 年 3 月定例会
	山口東京理科大学調査特別委員会
議 案 件 名	承認第 4 号 山口東京理科大学薬学部増築工事（A 棟建築主体工事）請負契約の一部変更に関する専決処分について
概 要	平成 30 年 2 月 7 日に専決処分を行った山口東京理科大学薬学部増築工事（A 棟建築主体工事）の請負契約の金額を変更したことに対する議会の承認を求めるもの
論点又は質疑 によって明らか になった事項	<ul style="list-style-type: none"> * 変更後の契約金額：23 億 4,682 万 9,200 円（4,473 万 3,600 円増額） * 増額の理由：指定確認検査機関からの防火上の観点による指示に基づく層間区間の工事、大学からの要望によるホール照明架台の取付け、設計の内訳書に記載がなかったアルミサッシチャンバーボックスの取付けを行うため * 層間区画は、防火対策として必要なので施工するようという指摘があり、2,770 万円掛けて工事をするもの * ホールの照明取付金具については、大学との協議の中で追加、取付数量は 11 か所で総額 114 万 5,000 円 * アルミサッシチャンバーボックスは、本来は建築主体工事又は機械設備工事の設計の内訳書になくてはならないものが、双方の設計の内訳書から落ちていたもので、456 か所施工し、金額は 1,190 万 4,000 円
討 論	反対討論あり
結 果	賛成多数で承認

■ 委員長報告概要 ■

		平成 30 年 3 月定例会
		山口東京理科大学調査特別委員会
議 案 件 名	承認第 5 号 山口東京理科大学薬学部増築工事（B 棟建築主体工事）請負契約の一部変更に関する専決処分について	
概 要	平成 30 年 2 月 7 日に専決処分を行った山口東京理科大学薬学部増築工事（B 棟建築主体工事）の請負契約の金額を変更したことに対する議会の承認を求めるもの	
論点又は質疑 によって明らか になった事項	<p>* 変更後の契約金額：18 億 8,829 万 360 円（2,221 万 4,520 円増額）</p> <p>* 増額の理由：A 棟と同様、指定確認検査機関からの防火上の観点による指示に基づく層間区間の工事や大学からの要望によるホール照明架台の取付け、設計の内訳書に記載がなかったアルミサッシチャンバーボックスの取付けを行うため</p> <p>* 層間区画は、防火対策として必要なので施工するようという指摘があり、845 万円かけて工事をするもの</p> <p>* ホールの照明取付金具については、大学との協議の中で追加、取付数量は 22 か所で総額 229 万円</p> <p>* アルミサッシチャンバーボックスは、本来は建築主体工事又は機械設備工事の設計の内訳書になくてはならないものが、双方の設計の内訳書から落ちていたもので、443 か所施工し、金額は 1,153 万 4,400 円となっている</p> <p>* B 棟については予定では 2 月 28 日に完成届が出てくるので 3 月 13 日までに竣工検査を完了する予定</p>	
討 論	反対討論あり	
結 果	賛成多数で承認	

■ 委員長報告概要 ■

		平成 30 年 3 月定例会
		山口東京理科大学調査特別委員会
議 案 件 名	承認第 6 号 山口東京理科大学薬学部増築工事（A，B 棟機械設備工事）請負契約の一部変更に関する専決処分について	
概 要	平成 30 年 2 月 7 日に専決処分を行った山口東京理科大学薬学部増築工事（A，B 棟機械設備工事）の請負契約の金額を変更したことに対する議会の承認を求めるもの	
論点又は質疑 によって明らか になった事項	<p>* 変更後の契約金額：14 億 839 万 5,600 円（2,599 万 5,600 円増額）</p> <p>* 増額の理由：空調機器の数量、能力の見直し、大学からの要望により実験機器のドラフトチャンバー 4 台を増やしたことに伴う空調機器仕様の変更や、ダクトやダンパ類等の追加などのため</p> <p>* 空調機器の数量、能力の見直し 70 台、金額は 5,200 万円減額、実験機器数の増加に伴う機器仕様の変更により、2,400 万円の増額、ダクト、ダンパ類等の設計書に記載があつて見積参考資料に記載がなかったもの 6,120 万円の増額、その他仕様変更等によるもの、773 万円の減額</p>	
討 論	討論なし	
結 果	賛成多数で承認	